



参考資料：

本資料は 2002 年 11 月 18 日（米国時間）に発表された AT&T コーポレーションのブロードバンド部門とコムキャストとの合併完了に関するリリースの抄訳です。原文は <http://www.att.com> に掲載されています。

2002 年 11 月 20 日

AT&T が AT&T ブロードバンドの株式を AT&T 株主に分配し、 コムキャストと AT&T ブロードバンドの合併を完了

米国ニュージャージー州ベッドミンスター発 - AT&T は本日（米国時間 11 月 18 日）、2002 年 11 月 15 日現在の名簿上の AT&T 株主に AT&T ブロードバンド株式を分配した上で同部門を分離しました。

この分離直後、AT&T ブロードバンドはコムキャスト・コーポレーションと合併しました。この合併により、株式と負債を含め、約 600 億ドルの総資産価値を持つ、世界に冠たるブロードバンド・サービス企業が誕生します。

この新しいコムキャストは、2,140 万人以上の契約者を有する世界最大級のブロードバンド通信／メディア／エンターテインメント企業となります。ブロードバンドのビデオ／通話／データの各サービス分野では、世界のリーディング・プロバイダーとなります。従業員数は 59,000 人、41 州で事業を展開し、デジタルビデオの顧客は約 630 万人、高速データの顧客は 330 万人、ケーブル電話の顧客は 130 万人に上ります。

この度の合併に伴い AT&T の会長兼最高経営責任者を退任し、コムキャスト・コーポレーション会長に就任するマイケル・C・アームストロングは次のように語っています。「AT&T ブロードバンドは再びわが業界の発展と変革を加速する役割を演ずることになります。AT&T ブロードバンドとコムキャストが一緒になることで、各々が単独で行うより多くのことを成し遂げることができます。コムキャストは、より多くのサービスを迅速に、より多くの人々に提供することにより、お客様、株主、従業員のために価値を創造するでしょう。」

AT&T ブロードバンドの従業員について、アームストロングはこのように語っています。「これまで AT&T ブロードバンドを育ててきたすばらしい社員の皆さんを本当に誇りに思っています。そのエネルギー、情熱、献身的な取り組みは傑出したものです。私は、今後も変わらない勤勉さを通じて、この新世代のブロードバンド・サービスの可能性を切り開いていくものと確信しています。」

合併は、AT&T 株主への株式交換を通じて完了します。AT&T 株主は 2002 年 11 月 15 日（登録日）に市場が終了した時点でそれぞれが所有していた AT&T 株 1 株につき、コ

コムキャスト・コーポレーションのクラス A 普通株 0.3235 株を受け取ります。

この合併に伴い、AT&T 株主は新しい企業の 56 パーセントの経済的利益と 66 パーセントの議決権付株式を保有することになります。旧コムキャストのクラス B 株を保有するロバーツ家は新企業の発行済議決権付株式の 3 分の 1 を有することになります。

コムキャストは AT&T およびその子会社から債務 240 億ドル以上を引き受けます。またマイクロソフトが保有する AT&T 子会社の 50 億ドルの信託転換優先証券(trust convertible preferred securities)を引き受け、これはコムキャストの株式 1 億 1,500 万株へ転換されます。

AT&T 株主は、5,000 万人以上の消費者と 400 万社の企業顧客と関係を持つ世界最大級の通信サービス企業である AT&T の株式を今後も保有することになります。

「AT&T は、超一流のリーダーシップ・チーム、ワールドクラスのネットワーク、健全な財務体質、市場での豊富な機会に恵まれ、将来に向けた体制を整えています」とアームストロングは語っています。

AT&T の従業員に関して、アームストロングは次のように語っています。「AT&T 社員は、業界の混乱期に目的と誠実さをもって一貫して業務を遂行してくれました。私は、過去 5 年にわたり共に成し遂げた成果を誇りに思っており、この素晴らしい企業の一員であったことには一層誇らしい気持ちです。」

AT&T はまた本日、すでに発表した 1 対 5 の株式併合を実施しました。これは今年初めに AT&T 株主に承認されています。AT&T では、株式併合の完了後、発行済み株式数が約 7 億 7,000 万株になると予想しています。

AT&T 株主は、AT&T 取締役会が提案した、AT&T ワイヤレスおよび AT&T ブロードバンドの分離を含む AT&T のリストラクチャリングを受けた後の、AT&T 株の取引価格の調整を圧倒的多数で承認していました。

株式併合により、AT&T 普通株の保有者は、現在保有する株式 5 株につき AT&T 株を 1 株受け取ります。新株が発行された時、新株 1 株で、交換された 5 株と同じ権利を AT&T に対して有することになります。

株式併合の結果、AT&T 株を 5 株以上保有し、配当金再投資プランに参加する AT&T 株主は、新しい AT&T の単位株と端株に関する口座報告書を受け取ります。AT&T 株を 5

株以上保有し、配当金再投資プランに参加していない AT&T 株主は、AT&T の単位株に関する口座報告書と端株に対する現金を受け取ります。5 株未満の AT&T 株主は、端株に対する現金を受け取ります。

ニューヨーク証券取引所の AT&T の会社コードはこれまでどおり「T」ですが、AT&T の CUSIP ナンバーは今回の分離の結果変更されます。

今後の四半期配当を公表するには時期尚早ですが、仮に今後も同じ割合で定期配当を行った場合、AT&T 株主は今回の株式併合の結果として AT&T の四半期配当として 1 株当たり 3.75 セントから同 18.75 セントを受け取ることになる見通しであるとしています。

11 月 18 日をもって、AT&T 株主は現在保有する AT&T の株券を取引することができなくなります。そして株主が講ずべき措置に関しての情報が AT&T 株主宛に郵送されます。株券が手元のない株主は、株式併合に伴うアカウント・バランスの調整が自動的に行われ、この新しい株式バランスを反映した報告書が概ね 1 カ月以内に郵便で送られます。

###

以上は「将来予測に関する記載」であり、経営陣の所信、将来に関する多くの仮定条件、および経営陣が現在入手できる情報に基づいています。読者は、こうした将来予測に関する記載に過度の信頼を寄せないよう注意すべきであり、その内容は業績を保証するものではなく、多くが AT&T の制御しえない多数の不確実性などの要因に左右され、その結果、実際の業績がそうした記載から大幅に異なったものになる可能性があります。実際の業績を予測と異なるものにする可能性のある要因についてのより詳しい説明は、証券取引委員会 (Security Exchange Commission) への AT&T の提出書類をご参照ください。AT&T は、将来予測に関するいかなる記載も、新情報、将来の出来事、またはその他によるものであれ、それを更新し、または見直す意図または義務を有しません。本情報は、AT&T の財務結果についてさらに理解を深めていただくための付加的情報として提供されるものにすぎません。